

緑の中、リフトに揺られ、辿り着いた賤ヶ岳山頂。湖面が穏やかに、周りの風景を映すことから別名鏡湖と称される余呉湖を一望することができます。(7月14日撮影)



天性と努力のアスリート

中京大学 陸上競技部所属
 なんぶ じゅり
南部 琉璃さん(湖北今町)

撮影場所：長浜市役所

4メートル9センチ。2018年の陸上日本選手権の女子棒高跳びで、南部さんが優勝した時の記録です。陸上を始めて以来、テレビで見ていた大会。高校や大学時代には先輩が出場していたこともあり、日本選手権での優勝は念願だったといいます。

幼少期から運動が好きで、幼稚園のリレーではアンカー、小学2年生から始めた野球ではショートを守るという活躍ぶり。天性とも思える姿の陰には、人一倍の努力が。「兄に負けたくない一心。器用ではなくコツコツタイプなんです」。

棒高跳びを始めたのは高校1年の冬。中学から始めた走り幅跳びの記録が伸び悩んだこと、オリンピック出場経験を持つ顧問の先生の勧めが後押しとなり、運命

的な転向を果たします。大学への進学も大きな転機に。顧問の先生を育てた師に指導を仰ぎたいと名門中京大学への進路を希望するも、退職の意向を耳にします。しかし、「どうしても先生のもとで頑張りたい」という熱意に、師は「2年の間に育てたいと思える選手になれば、その先も一緒に頑張ろう」という言葉で応え、今、その師のもとで3年目を迎えます。

日本選手権優勝でアジア選手権の切符を手にし、その日に照準を合わせてきた南部さんにアクシデントが襲います。現地で調整中に肉離れという診断。大きな事故につながると現地トレーナーに止められ、涙をのみます。「ボックスに向かって突っ込めないという焦り、ポールを起こ

していく恐怖が原因。自分の力の無さを知りました」。身体とともにメンタルの立て直しを余儀なくされますが、「決してあきらめないことだ」という師の言葉を胸に、我慢の時を過ごします。そして復帰戦となった今年6月の学生個人選手権。不安を抱えながらも、試合の感覚を呼び覚まし見事優勝。再起への大きな手がかりを得ます。

今、目の前にある東京五輪。体格が記録に大きく影響する棒高跳びの標準記録を超えることは、日本人選手にとって大きな壁ですが、「厳しいけどそれをめざす価値がある」と真っ直ぐな眼差し。道の厳しさを知るからこそ、師から教え込まれた「自分を信じること」を武器に、壁に立ち向かいます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



ステキな笑顔、ありがとう！
 毎日幸せいっぱいだよ。
 ゆっくり大きくなってね♡

松井
 あやね
絢音ちゃん(平成30年8月生まれ)
 (小野寺町)

小林
 わかな
若菜ちゃん(平成27年4月生まれ)
 (木之本町川倉)



どんどん活発になってきた若菜ちゃん。
 これからも元気にスクスク育ってね！

まちの人口	令和元年7月1日現在	人口 118,114人	男 57,941人	女 60,173人	世帯数 46,105世帯
	令和元年6月中の異動	転入 255人	転出 179人	出生 69人	死亡 89人 婚姻 81件